

令和 6 年度使用小学校教科用図書
に関する調査報告書

教科名 国 語

(様式1)

教科用図書調査に関する報告書

教科	国語
----	----

発行者 略称	発行者 番号	教科書の 記号・番号	教科書名	調査結果の概要
東書	2	国語 109 110 209 210 309 310 409 410 509 609	新編 あたらしい こくご 一上・一下 新編 新しい国語 二上・二下 三上・三下 四上・四下 五 六	・「国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力の育成」に向けた内容の構成となっている。 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」の題材は、日常生活に関連した内容となっており、多様な活動から主体的に言語活動に取り組むことができる。 ・単元末には、身につけた言葉の力を振り返ることができるよう図解も含めてまとめられている。 ・二次元コードを利用したデジタルコンテンツが豊富に用意され、既習の学習内容を確認できるよう配慮されている。 ・SDGsや今日的課題に関連するテーマを幅広く取り上げている。 ・各領域の資質・能力が育成されるように、系統性を考慮した内容配列となっており、学年をまたぐ縦の系統性も十分に考慮されている。 ・「ことばのひろば」には、語彙力を高めたり言葉の使い方を学習したりすることができる教材があり、児童の実態にあわせて活用することができる。 ・「言葉相談室」や「情報のとびら」では、語彙力を豊かにしたり、情報について学んだりできるよう工夫されている。 ・四季それぞれの詩歌と語彙、慣用句、俳句など伝統的な言語文化に関する教材を取り上げ、日本語の美しさ豊かさに触れられるようにしている。 ・児童の発達段階に即して、イラストなどを取り入れて、系統的、発展的に構成されている。

発行者 略 称	発行者 番 号	教 科 書 の 記号・番号	教 科 書 名	調 査 結 果 の 概 要
教 出	1 7	国語 111 112 211 212 311 312 411 412 511 512 611 612	ひろがることば しょうがくこくご 一上・一下 ひろがることば 小学国語 二上・二下 ひろがる言葉 小学国語 三上・三下 小学国語 四上・四下 小学国語 五上・五下 小学国語 六上・六下	・「国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力の育成」に向けた内容の構成となっている。 ・縦の系統性、他教科・領域等で生きて働く言葉の力の育成を図るように工夫されている。 ・手引きのページは見開きで完結しているが、下段の具体例がわかりにくい。 ・まなびリンクが準備されており、ウェブサイトから必要な資料を選択することができる。 ・二次元コードを利用したデジタルコンテンツが豊富に用意されているが、本文以上の詳しい情報が得られる場合がある。児童が、読み取って考えたり想像を膨らませたりすることを妨げる懸念もある。 ・SDGsに関する内容を多く取り扱っているが、SDGsといった表記はなく、説明的文章としての掲載である。 ・説明文は連続して2つの教材が用意されており、1つめは短いため、単元導入に適している。 ・説明文の学習では、学びを活用する教材が設定されており、その中で、図鑑や事典を必然的に活用することができるよう考慮されている。 ・日常生活の様々な場面における言語活動の内容が設定されているが、報告や記録を書く活動が多いため、時間の確保がやや難しい。 ・単元末の「言葉をふやそう」では、教材で扱われた言葉から、さらに自分の語彙を増やすことができるよう工夫されている。 ・伝統的な言語文化に親しみ、長く使われてきた言葉について学習する教材が、季節に合わせて系統的に設定されている。 ・全学年、上下巻2冊の分冊のため、持ち運びの負担は少ない。 ・文字は明瞭だが、細く小さめである。「言葉の文化」のページなどは紙面に余白が多い。

発行者 略 称	発行者 番 号	教 科 書 の 記号・番号	教 科 書 名	調 査 結 果 の 概 要
光 村	3 8	国語 113 114 213 214 313 314 413 414 513 613	こくご一上 かざぐるま こくご一下 ともだち こくご二上 たんぼぼ こくご二下 赤とんぼ 国語三上 わかば 国語三下 あおぞら 国語四上 かがやき 国語四下 はばたき 国語五 銀河 国語六 創造	・「国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力の育成」に向けた内容の構成となっている。 ・巻頭の「国語の学びを見わたそう」を活用し、各単元で繰り返すことで、学び方が定着しやすく、見通しをもって主体的に学習することができる。 ・小単元でも、既習内容や振り返りの観点や発展的な学習の例が示され、児童が主体的に学習を進めやすいよう工夫されている。 ・児童が「問い」をもち、他者との対話を通して、課題を解決する活動が設定されている。 ・「読む」の単元は、「見通しをもとう」が見開きでわかりやすく、「話す・聞く」「書く」の単元は、冒頭の下段で進め方を示している。 ・学習の最後に「ふりかえろう」が評価に関する3観点で設定されており、学習内容の定着度を確かめやすい。 ・デジタルコンテンツが豊富に用意され、必要な資料を選択することができる。課題をもつための動画、アニメーション、Web資料、全学年の学びを振り返る資料などが活用できる。 ・SDGsや防災に関連する内容が1年から取り扱われている。 ・各領域の資質・能力が育成されるように、系統性を考慮した内容配列となっており、学年をまたぐ縦の系統性も十分に考慮されている。 ・「ことばのたからばこ」では、テーマ別に様々な言葉が収録されており、必要に応じて活用することができる。 ・巻末の折り込みに、図を使って考える思考ツールが系統立てて示され、他教科や日常生活にも活用することができるよう工夫されている。 ・四季それぞれの詩歌と語彙、慣用句、俳句など伝統的な言語文化に関する教材を取り上げ、日本語の美しさ豊かさに触れられるようにしている。

(様式2)

教科用図書調査に関する報告書

国語

観点別評価

「◎」優れている

「○」標準的

「△」やや劣る

選定の観点	選定の視点		東書	教出	光村
学習指導要領との関連	1	学習指導要領に示されている国語科の目標達成に結び付く内容になっているか。	○	○	○
	2	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫がされているか。	○	○	◎
	3	「知識及び技能」の習得と「思考力・判断力・表現力等」の育成をバランスよく図るための工夫がされているか。	○	○	○
	4	言語活動の定着を図るための配慮がなされているか。	◎	○	◎
	5	学習への興味・関心を高めるとともに、学びを深めるために、ICT機器や二次元コードから参照できるデジタルコンテンツを適切に活用することができる配慮がなされているか。	○	○	◎
	6	SDGs など、今日的課題が取り上げられ、児童が興味・関心を持ち、主体的に学ぶとともに発展的な学習も行うことができる工夫がされているか。	○	○	○
内容	1	日常生活に必要な知識や技能が習得できるよう、日常生活と関連付けた工夫がなされているか。	◎	○	◎
	2	日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う内容となっているか。	○	○	○
	3	語彙を豊かにし、言語感覚を養う工夫がなされているか。	◎	○	◎
	4	情報の整理の仕方や、原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる工夫がなされているか。	◎	○	◎
	5	我が国の伝統的な言語文化に親しむことができる工夫がなされているか。	○	○	◎
	6	図鑑や事典などを活用することができる内容となっているか。	○	○	○
構成・分量	1	内容の量と学習時間が適切に配当されているか。	○	○	○
	2	児童の発達段階に即し、系統的、発展的に構成されているか。	◎	○	○
表記・表現	1	表記や表現について、文書や挿絵、写真等の使用が適切であるか。	○	○	○
	2	文字の大きさ、字間、行間などは適切であるか。	○	△	○
	3	ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、色の使用、紙面の構成などについて、配慮されているか。	○	○	○